



奥口内科クリニック 便り

低血糖の症状

- ・異常な空腹感やだるさ
- ・冷や汗、動悸、震え、熱感、不安感、悪心

警告症状

低血糖の症状が現れる血糖値は一定ではなく、個人差があり、普段の血糖値が高い場合は少し低い血糖値でも症状が現れます。また低血糖の症状には個人差があり、自分がどんな症状が出やすいか知っておくことが大切です。



低血糖の進行

自律神経症状



強い空腹感、発汗、悪心、不安感、手足の震え、動悸など

中枢神経症状



眠気、めまい、集中力低下、不機嫌、強い疲労感、時間や場所が分からないなど



大脳機能低下



痙攣、意識消失、昏睡



無自覚性低血糖症とは

低血糖が起こっても警告症状が現れずに、低血糖に気がつかない場合があります。これを「無自覚性低血糖」と呼び、いきなり意識障害や昏睡を起こすため、注意が必要です。糖尿病による自律神経障害により起こる場合と、自律神経障害がなくても低血糖を繰り返したために起こる場合があります。無自覚性低血糖では、低血糖が起こらないようにすることで、本来の低血糖への反応が戻ってきます。このためには普段から血糖自己測定を行って、未然に低血糖を予防する対策を主治医とよく相談しましょう。